

2024.5.15  
No.186

# たなぐら 議会だより



2  
ページ

令和6年度  
当初予算を可決

8  
ページ

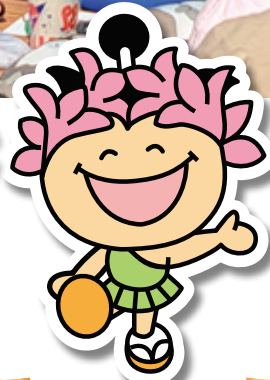
町政を問う  
一般質問

17  
ページ

議会の活動  
状況報告

18  
ページ

議会モニター



もくじ

表紙写真

「たなぐらsakuraマルシェ」  
川越藩行列保存会



# 第6次振興計画の 令和6年度当

# 実現を目指して 初予算を可決

定例会  
3月会議

## 文化センター大規模改修事業



令和6年度は、大ホールなどの空調設備の改修工事等を行います。  
(前年度からの継続事業)

## DX推進事業費



地図情報の公開や業務全体のデジタル化を推進し、住民サービスの向上を図ります。

## 補助文化財施設災害復旧費



崩落した棚倉城跡二の丸石垣の解体撤去や石垣のカルテ作成、調査等を行います。



## 主な事業

- ・ 幼稚園送迎バス・スクールバス運行事業
- ・ 高校生等生活応援給付金
- ・ 防災対策事業
- ・ 歴史的風致維持向上計画推進事業
- ・ 道路メンテナンス補助事業
- ・ 出産・子育て応援事業
- ・ 地域交通対策事業
- ・ ふくしま森林再生事業
- ・ 街なみ環境整備事業 など



定例会3月会議は、3月5日から12日までの8日間の会議日程で開催されました。令和6年度当初予算や令和5年度予算の補正、条例の改正、専決処分の報告、追加議案の人事案件などについて審議し、すべて原案のとおり可決・同意されました。一般質問は8名の議員が登壇し、町政をたどりました。

## 令和6年度に行う一般会計の主な事業です

### 妊産婦等健康診査事業費



新たに妊婦等に対する分娩施設までの交通費及び宿泊費の助成を行います。

### 棚倉町タクシー利用料金助成事業



タクシー利用料金の助成額が、8,160円の増額となり、年額36,000円分になります。



## 当初予算審議

令和6年度各会計当初予算の審議は、予算特別委員会が設置され2日間にわたり慎重に審議されました。  
提出された議案をすべて原案のとおり可決すべきものと決定され、最終日の本会議において、審査結果を委員長が報告されました。



## 令和6年度各会計の予算額

(△は減額表示)

会 計 名	6年度予算	5年度予算	比 較				
			増減費	伸び率			
一 般 会 計	75億6,000万円	69億8,300万円	5億7,700万円	8.2%			
特別会計	国民健康保険	12億2,003万円	△ 3,042万円	△ 2.4%			
	後期高齢者医療	1億6,106万円	468万円	2.9%			
	介護保険	15億4,908万円	15億1,432万円	3,476万円	2.2%		
	霊園整備事業	72万円	177万円	△ 105万円	△ 59.3%		
	簡易水道事業	-	4,924万円	-	-		
	公共下水道事業	-	3億751万円	-	-		
	農業集落排水事業	-	8,407万円	-	-		
公営企業会計※1	上水道事業	収益的収支 収入	3億6,567万円	3億7,046万円	△ 479万円	△ 1.2%	
		支出	3億4,536万円	3億3,906万円	630万円	1.8%	
	資本的収支	収入	1億4,695万円	1億6,288万円	△ 1,593万円	△ 9.7%	
		支出	2億8,663万円	2億9,567万円	△ 904万円	△ 3.0%	
	簡易水道事業	収益的収支 収入	5,040万円	-	-	-	
		支出	4,515万円	-	-	-	
	資本的収支	収入	1,029万円	-	-	-	
		支出	1,911万円	-	-	-	
	下水道事業※2	収益的収支	収入	3億4,012万円	-	-	-
			支出	3億3,818万円	-	-	-
		資本的収支	収入	1億7,446万円	-	-	-
			支出	2億4,446万円	-	-	-

※1簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業は、公営企業会計に移行しました。  
※2公共下水道事業と農業集落排水事業は、下水道事業会計となりました。

(1万円未満切捨て)

## 討論の末に可決

反対 1名  
賛成 11名

令和6年度棚倉町一般会計予算の原案をめぐって討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決しました

### 反対討論

松本トク子 議員

令和6年度棚倉町一般会計予算案は、歳入歳出ともに75億6千万円で、前年比5億7千7百万円の増である。  
現在、世界的に食料やエネルギー不足、日本の上がらない賃金、そして物価高騰は町民の生活に重くのしかかっている。そのような中、令和6年度一般会計予算案で町民の暮らしを守ることができるのか。  
学校給食費の無償化については、県内32市町村が今年4月より実現され、郡内では棚倉町以外の町村で実施されている。無償化は今や大きな流れである。なぜ、何年たってもできないのか。予算の組み方次第で解決できるのではないのか。  
また、深刻な少子化問題。ここ数年の町の出生数は70人台である。子育て、少子化問題に取り組み、安心して子どもを産み育てたいける棚倉町にしていかなければならないが、そのような予算になっていない。  
ルネサンス棚倉については、今年度も9千193万9千円の予算を計上しているが町民のための予算にはなっていない。毎年、1億円近くの予算が積み込まれているため、検討していくべきである。  
この予算案は町民の願いとはかけ離れた予算と申し上げ、反対討論とする。

### 賛成討論

大竹 盛栄 議員

令和6年度棚倉町一般会計予算案は、子育て支援、街並み環境整備、自治体DXなど、当面する町の重点施策が盛り込まれている予算となっている。  
歳入においては、国県支出金や寄附金の増加など財源の確保に努めながら、繰入金の前年度より減額し、町財政の健全化に向けて努力している内容がうかがえる。  
次に、歳出においては、子育て環境の充実のために、預かり保育や放課後児童クラブの充実、高校生等生活応援給付金の継続、さらに新規事業として妊婦に対する分娩施設までの交通費、宿泊費の助成、地元企業や事業者に対する人材確保支援の実施、また、棚倉城跡及び馬場都々古別神社門前周辺の環境整備など、経費の節減と有利な財源の活用を図りながら、必要な事業の予算化に努めているものとみられる。  
したがって、厳しい財源状況のなか限られた財源を必要な事業へ分配しようとしてこの予算案を適切なものと考え、賛成し討論とする。



## 常任委員会審査

令和6年度の条例改正の議案については、厚生文教常任委員会と、建設経済常任委員会に付託され審査を行いました。



厚生文教常任委員会



建設経済常任委員会

## 専決処分の報告

◇ 棚倉町手数料条例の一部を改正する条例

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、新たに戸籍謄本等の広域交付等に係る手数料を定めるもの。

## 条例の一部改正等

◇ 棚倉町介護保険条例の一部を改正する条例

6年度から8年度までの3年間に係る第9期介護保険事業計画による保険料率の改定。

◇ 棚倉町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◇ 棚倉町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◇ 棚倉町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◇ 棚倉町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

いずれも国の関係省令の改正が行われたことに伴い、関係する条例についての所要の改正。

◇ 棚倉町防災会議条例の一部を改正する条例

地域防災計画の策定等にあたり多様な主体の参画を図るため委員定数を増員し組織体制の充実強化を図る。

◇ 棚倉町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

本団運営や組織力の強化を図るため、指導部長の増員など組織体制を改編するもの。

◇ 棚倉町上水道給水条例の一部を改正する条例

厚生労働省が所管していた上水道事業が、令和6年4月1日から国土交通省へ所管替えとなる

## 人事案件

全会一致で同意しました。

### 棚倉町副町長の選任



渡邊 崇史さん  
(福島県)

### 棚倉町監査委員の選任



加藤 一彦さん  
(日向前)

### 人権擁護委員候補者の推薦



原 啓喜さん  
(富岡)



須藤 俊一さん  
(逆川)



松本ひとみさん  
(千駄櫃)

## 陳情

● 要望書 令和6年度棚倉町商工会助成事業費（地域貢献事業）補助金の交付について

■ 提出者

棚倉町商工会 会長 立石 誠

● 要望書 令和6年度たなぐら Sakuramaruシエ及び棚倉夏まつり事業補助金の交付について

■ 提出者

棚倉町商工会 会長 立石 誠

● 要望書 原油・原材料等の高騰、物価高等における中小・小規模事業者支援に関する緊急要望書

■ 提出者

棚倉町商工会 会長 立石 誠

● 陳情書 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情

■ 提出者

日本労働組合総連合会福島県連合会 東白川地区連合会 議長 菊地 克明

ることに伴う所要の改正。

◇ 棚倉町営運動広場条例の一部を改正する条例

棚倉運動広場の改修に伴い、夜間照明設備の基数が増加したので、使用料の算出について所要の改正。

### 令和5年度3月補正後の予算額

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2,383万円	78億5,544万円
国民健康保険	△617万円	12億6,107万円
後期高齢者医療	306万円	1億5,945万円
介護保険	△1,706万円	15億6,414万円
簡易水道事業	146万円	5,241万円
公共下水道事業	677万円	3億3,313万円
霊園整備事業	10万円	188万円

(△は減額表示/1万円未満切捨て)

特別会計

● 陳情書 令和6年度教育予算確保並びに施設等の充実に関する陳情書

■ 提出者

棚倉町立学校PTA連絡協議会 会長 沼田 隆之



陳情の様子



# 町政を問う

定例会3月会議では8人の議員が登壇し質問を行いました。  
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。

## 1 藤田智之 議員 …… 9ページ

1. 町内住宅の耐震化率は
2. 棚倉城跡観光拠点施設は
3. 町独自の婚活事業は

## 2 沼野将美 議員 …… 10ページ

1. 棚倉町の農業者人口及び平均年齢は
2. ホッケー場の人工芝の張替えの考えは

## 3 高橋みゆき 議員 …… 11ページ

1. 旧山岡小学校の今後の活用は
2. タクシー利用料金助成事業の見直しは
3. 準中型免許新設による消防ポンプ車運転免許取得費用は

## 4 小沼勝弘 議員 …… 12ページ

1. 堤交差点の信号機撤去は
2. 観光資源・八溝山の有効活用は

## 5 薄井喜一 議員 …… 13ページ

1. 白河地方広域圏への支払いは
2. スクールバスに乗れる条件は

## 6 松本トク子 議員 …… 14ページ

1. 学校給食費の無償化への取り組みは
2. タクシー利用助成事業は
3. すこやか赤ちゃん応援券支給事業は

## 7 大竹盛栄 議員 …… 15ページ

1. 棚倉断層の町独自の検証は
2. 不登校の児童生徒と教員の話し合いは

## 8 割栢義夫 議員 …… 16ページ

1. 令和5年度出生数の見込みは
2. 令和6年度高野小への確定入学者数は



### 問 町内住宅の耐震化率は 現在、73・5%

**問** 能登半島地震の事例から改めて地震への備えが求められているが現状は。

**町長** 県では、福島盆地西縁断層帯地震、会津盆地東縁断層帯地震、東北地方太平洋沖地震を想定。防災計画に女性の視点を反映させるため女性の参加を進める。公共施設の耐震性は確保されている。

トイレトレーラーは目標以上の寄付が集まり納車の予定。

現在、役場敷地内の防災備蓄倉庫に食糧品、衛生用品、毛布などの物資を備蓄し、総合体育館には段ボールパーティションや床マットなどの避難所運営物資を保管、毎年備蓄品の種類や数を増やしている。

電気、ガス、水道の生活インフラの災害復旧対策に関係団体と応援協定を締結。

自主防災組織は17組織が設立され訓練等が実施されている。住宅の耐震化率は令和5年1月1日現在

在で73・5%。これまで16戸の耐震診断を実施。

防災マップを全世帯に配布し、災害時の対応、各種警戒区域の周知に努めている。

**問** 耐震診断100%を目指し整備課長 必要性について、さらに周知したい。

災害に備えた防災倉庫とトイレトレーラー



**問** 棚倉城跡観光拠点施設は  
**答** 当面は茶室脇の土蔵を活用

**問** 6年度の棚倉城跡観光拠点施設の具体的な計画や八槻観光拠点施設の活用状況、今後の観光振興の取り組みは。

**町長** 拠点整備の場所は現在検討中、6年度には棚倉町茶室の土蔵を活用し、棚倉城跡の案内や本町のPRとして観光パンフレットの配布などを計画。

八槻観光拠点施設では観光パンフレットや広報たなぐらの配布、フォトコンテストの入選写真、観光ポスターの掲示等で活用。

観光拠点やデジタル配信の効果的な整備を検討したい。

**問** デジタル情報のアプローチは。  
**地域創生課長** 情報の更新などは職員が随時行っている。

**問** 観光拠点施設の幅広い活用は考えられないか。

**地域創生課長** 今後、町の農家の朝市や商工業者のイベント等での利用も検討したい。



藤田智之



活用が期待される八槻の観光拠点施設

**問** 町独自の婚活事業は

**答** 6年度に実施を予定

**問** 婚活事業の現状と成果は。

**町長** 今年度はしらかわ地域定住自立圏事業で出合いのイベント事業やセミナーなどを計6回、八溝山周辺地域定住自立圏事業も婚活事業を実施。一定の成果はあった。

**問** 町独自の取り組みも必要では。

**地域創生課長** 6年度に町内の飲食店を活用して実施を予定。詳細は今後検討したい。



**問** 柵倉町の農業者人口及び平均年齢は

**答** 1,727人、67・4歳

**問** 柵倉町の作付け面積は。

**町長** 2020年の農林業センサスでの耕作面積は1,176ヘクタール。

**問** 新規就農者に対する支援は。

**町長** 農業用機械施設等の導入経費及び園芸作物等の種苗購入に対する助成、関係機関の各種補助制度等を紹介している。

**問** 農家の高齢化に対する支援の検討はあるのか。

**町長** マッチングサイトを紹介する等、労働力の確保に向けた支援をしていく。

**問** 農業者の高齢化状況に対して具体的な解決策は。

**産業振興課長** 労働者や生産者を結びつけるサイトのPR、担い手の育成について力を入れる。

**問** 町内の遊休農地の面積は。

**産業振興課長** 約330ヘクタールである。

**問** 遊休農地の利用法、解決案等の検討は。

**産業振興課長** 遊休農地は中山間地域が多い状況で、中山間直接支払制度などにより支援をするこ

とで、遊休農地の解消に繋がっているものと考えている。

**問** 農業の高齢化は進むと思われるが草刈りに対する支援等の考えはないか。

**産業振興課長** 現状では支援をしていない。今後草刈り等に対する支援をすべきか調査していく。

**問** 今後町としては農業者の高齢化に支援をしていくのか、それとも新規就農者誘致・育成に力を入れるのか。

**町長** どちらかという事ではなく両方の課題に対して複合的に考えていかなければいけないと思っている。



草刈りが大変な土手

**問** ホッケー場の人工芝の張替えの考えは

**答** 現時点で張替えの計画はない

**問** これまでに大規模な改修は。

**教育長** 平成21年度に人工芝の全面張替えの大規模改修を行っている。

**問** 夜間照明や防球ネットの改修予定はあるのか。

**教育長** 今後関係者の意見を聞きながら調査し検討していく。

**問** 更衣室を整備する考えは。

**教育長** フィールド東側ポンプ室脇の部屋を利用しているが、状況を調査したうえで検討していく。

**問** 救護棟の設置はできないのか。

**生涯学習課長** 公式大会ではルネサンス柵倉のコテージ等を一部開放してもらっていた。ルネサンス柵倉の方もいろいろ相談しながら、対応できるものはしていく。



ルネサンス柵倉多目的広場（人工芝）



沼野将美

**問** 公式ホッケータウンに認定されたがこの機会をどう考えているか。

**生涯学習課長** 公式ホッケータウン同士の連携も出てくるのでそういった状況を見ながら対応していく。

**問** 旧山岡小学校の今後の活用は

**答** 今後、協議する

**問** 廃校後から現在までの維持管理費は。

**教育長** 令和3年度以降の維持管理費は、毎年100万円程度となっている。

**問** 管理費の内訳、詳細は。

**子ども教育課長** 電気、水道代金、敷地内の清掃料、消防施設の維持管理費、土地賃借料等である。

**問** 国の補助金等を利用したりノベーションや企業とのマッチングという形の活用方法の考えは。

**子ども教育課長** 補助金及び起債借入れにより改修しており、10年経過しない場合、補助金等の返還が生じる。

**問** 10年たった場合、何か活用方法を考えているといつ頃でしょうか。

**子ども教育課長** 現在、活用の目的は考えていないが、今後、他の課と協議、調整を図る考えはある。



旧山岡小学校

**問** タクシー利用料金助成事業の見直しは

**答** 別な事業への見直しは考えてない

**問** 町循環バス等、移住の考えは。

**町長** この事業の利用者から大変好評な事業であると聞いている。

今後は1人当たりの助成額の拡充や、タクシーだけでなく白柵線のバスなどでの活用など、利用者の利便性の向上に向けた検討をしていく。

**問** 準中型免許新設による消防ポンプ車運転免許取得費用は

**答** 費用の8割を助成

**問** 準中型自動車免許が必要となるポンプ車の台数は。

**町長** 車両総重量が3・5トンを超えるポンプ自動車等、台数は7台。

**問** 免許取得対象者は。その場合、免許取得の費用負担は。

**町長** 免許取得対象者は平成29年3月12日以降に普通自動車免許を取得した消防団員のうち、機



高橋みゆき

関長など消防ポンプ自動車運転する団員。費用としてオートマ限定解除や準中型免許を取得する場合には、自動車教習所の入学金、教習料金、検定料金、卒業証書交付手数料など、費用の8割を助成している。



準中型免許が必用となるポンプ車



### 問 堤交差点の信号機撤去は 答 撤去について事前説明なし

**問** 堤交差点（町道塚田池下線）の信号機撤去について、町や住民に対する事前説明は。

**町長** 当時、信号機撤去に関し柵倉警察署や公安委員会から町への事前説明はなかった。また、地域住民への説明は、柵倉警察署において当時の行政區長に対し、説明を行ったとのこと。

**問** 信号機撤去以降、町に対し地域住民や信号機復活の要望はなかったか。

**町長** 平成30年度に地元議員や行政區長から道路反射鏡の設置要望があり、令和元年度に2基設置した。

**問** 信号撤去から約5年が経過する現在も、危険な交差点という認識は変わっていないが、撤去以降に発生した交通事故件数は。

**住民課長** 令和4年度の発生件数では、物損事故が3件、人身事故が1件となっている。



左右の見通しが悪い堤交差点

**問** 「信号機の設置指針」によれば、「設置または撤去の検討にあたっては、地域住民と道路利用者の意見を十分に配慮する」とあるため、撤去する場合には一定のプロセス・ルールが必要では。

**住民課長** 現在においては、区長や役場職員、道路管理者も現場で説明を受けているので、その点については、今後留意したい。

**問** 観光資源・八溝山の有効活用は  
**答** 山頂付近の崩落により当面通行不可

**問** 八溝山のハイキングコース、遊歩道ともに長期間通行不可となっている理由と今後の見通しは。

**町長** 両ルートは、埴町の町道真名畑八溝線の一部を利用しているが、東日本大震災等で、山頂付近でのり面崩落し、埴町では全線通行止めとされていることから、利用者の安全確保にかんがみ通行不可としている。

**問** 八溝山ハイキングコースの入り口看板、道案内看板を更新する考えは。

**町長** 利用再開が難しい状況であり、現在のところ更新や整備をする考えはない。



八溝山ハイキングコースの案内看板

**問** 危険箇所をしっかりと調べ、安全を担保した上で、迂回するコースを検討することは。

**地域創生課長** 迂回路が作れるかどうかは、今後の調査が必要であるが、非常に難しいと思われる。



小沼勝弘

### 問 白河地方広域圏への支払いは 答 令和8年度以降はなし

**問** 水の安定供給のために、令和5年度の上水道給水量は。

**町長** 上水道給水量は、116万5,492.0mの見込みである。

**問** 白河地方広域市町村圏整備組合に支払う、減価償却費は令和8年度以降発生するの。

**町長** 令和8年度以降の減価償却費の支払いはなし。

**問** 個人で井戸を掘る場合の補助金は、あるの。ない場合には補助制度を計画する予定はあるの。

**町長** 個人で井戸を掘る場合の補助金と補助制度の計画は、現在のところなし。

**問** 企業を誘致した場合、水の安定供給は大丈夫か。

**上下水道課長** 企業が誘致された規模と場所によって、水道使用量の見込みを試算して検討する。

**問** 現在、水道供給量は、どの程度余裕があるの。

**上下水道課長** 上水道については8,300.0m<sup>3</sup>公称施設能力があり、現在使用量は4,300.0m<sup>3</sup>くらいで、おおよそ4,000.0m<sup>3</sup>くらい余裕がある。



堀川ダム（白河広域圏水源）

**問** スクールバスに乗れる条件は  
**答** 小学生で2km、中学生で5km

**問** スクールバスに乗れる距離は。

**教育長** 小学生で片道2km以上、中学生で片道5km以上である。

**問** 帰りの時刻は、何時に設定しているの。

**子ども教育課長** 午後3時前後と午後6時半である。

**問** 部活動を行っている生徒のために午後6時半の設定だが、調査研究していろいろな時刻の設定が必要だと思いが。

**子ども教育課長** 臨機応変に対応はしているところではあるが、今後調査研究して対応する。



薄井喜一



スクールバス



問 学校給食費の無償化への取り組みは一部補助を実施している

問 小・中学校の児童・生徒の各学年ごとの年間一人当たりの給食費支払額は。

町長 小学校は各学年約4,300円、中学校は各学年約4,600円である。

問 県内で学校給食費無償化を実施している市町村はいくつあるか。また東白川郡4町村の実施状況は。

教育長 県内で、無償化としていいるのは30市町村で、郡内の状況は埴町と鮫川村で無償化としていいる。なお県内で一部補助を実施している市町村は本町を含め26市町村である。

問 有効な子育て支援策である学校給食費無償化は、柵倉町でも早急に実施すべきであると考えますが、認識は。

町長 給食費の無償化については、国政与党が党の方針として上げたようなのでいずれはそういう



柵倉町学校給食センター

方向も考えられるが、子育て支援に対して最も有効な方策を考えていきたい。

問 タクシー利用助成事業は

問 この制度の継続希望の意見を聞いている

町長 旧柵倉5地区ごとの利用率は、令和4年度実績では柵倉地区約60%、社川地区約60%、高



令和6年度タクシー利用券

野地区約62%、近津地区約62%、山岡地区約57%となっている。

問 利用枚数を増やしてほしいという要望はあるのか。

町長 タクシー事業者を通して増やしてほしいという意見があるとは聞いている。

問 利用券については年間580円券が48枚というのだが、これは変わらないのか。

産業振興課長 利用単位を300円に引き下げ、交付枚数を多くする考え方で事業の見直しを進めていいる。

問 すこやか赤ちゃん応援券支給事業は家計が助かっていると聞いている

問 令和4年度の出生数及び、応援券を使用した金額は。

町長 令和4年度の出生数は76名である。応援券による給付金額は約412万円である。

問 支給金額を増やしてほしいなどの要望はあるのか。

町長 毎月2,500円分の購入が出来るので、家計が助かっている、ミルクや離乳食に使えて便利などの声は聞いている。



まつもと 松本トク子

問 柵倉断層の町独自の検証は実施していないが対策は進める

問 柵倉断層についてどのような認識をしているか。

町長 学術的には、諸説様あるが、地震発生の因果関係については特定されていないと考えていいる。

問 町独自で地震発生の検証をしたことはあるのか。

住民課長 検証はしていないが、災害発生時の対策は進めていいる。

問 木造住宅耐震診断はどの程度発しているのか、また、実績は。

町長 納税通知書発布の際に、助成に関するチラシを同封し、町HPでも募集している。実績は平成21年度から16万。

問 木造住宅耐震診断について能登半島地震を受けて、国県から予算の増額などはないのか。整備課長 若干の増額となる見込みである。

問 災害発生時の支援物資の輸送ルートは。

町長 柵倉町地域防災計画において、緊急輸送路線を指定し、災害対応を実施する。

問 自主防災組織の食糧等の備品への支援計画は。

町長 補助金交付要綱の中で、見直しを考えていいる。

問 行政区未加入世帯と、自主防災組織の関係をどうとらえているか。

町長 互助の意識に基づき、地域防災力の強化に取り組んでいいる。



出典: @FaultMAN (大坪誠)

問 町として、行政区未加入世帯に加入のお願いは出来ないのか。

住民課長 非常時には加入未加入を問わず助け合って欲しい。

問 不登校の児童生徒と教員の話し合いは

答 家庭訪問、タブレット端末、電話等で連絡を取っている

問 冬休み後の不登校の数は。

教育長 小学校6名、中学校33名、中学校で2名増加した。

問 中学3年生が11名と聞くが、進学希望者は。

子ども教育課長 10名が希望。

問 不登校問題の今後の考えは。

教育長 未然防止、初期対応、不登校になってしまった後の配慮の3段階で考えており、これらを教育委員会として学校に指導していいる。



おお 大竹盛栄

問 登校をどう促しているのか。

教育長 定期的な家庭訪問等で連絡を行い、まずは学校に来ることを目的とした時間差登校やタツ子登校など児童生徒に合わせた登校の仕方を促している。

問 中学校の部活動への支援は。

教育長 柵倉町公立幼稚園・小・中学校特別活動事業補助交付金要綱に基づき補助金を交付していいる。

問 小・中学校入学祝い金支給の考えは。

教育長 現在支給の考えはない。





問 令和5年度出生数の見込みは  
答 65人の見込み

問 令和元年度から令和5年度の出生数見込みは。

教育長 令和元年度77人、2年度71人、3年度72人、4年度76人、5年度65人の見込み。

問 幼稚園、小学校の借地面積、借地料金の年額は。

教育長 棚幼3,560㎡、約115万4千円。棚小623㎡、約15万円。高野小1,924㎡、約33万1千円。旧山岡小836㎡、約10万8千円。

問 少子化をどのようにとらえているのか。

子ども教育課長 出生数が70人を目安に下回る状態が複数年続いた場合、統合の検討を開始する。

問 課題の共有と可視化が必要と思うが考えは。

子ども教育課長 学校は社会性、協調性を学ぶ場であり、今後考えたい。

問 統合に向けた検討委員会等の立上げ時期は。  
子ども教育課長 統合検討委員

会等については教育委員会や総合教育会議等で意見を伺いながら慎重に判断していきたい。



高野小学校

問 令和6年度高野小への確定入学者数は

答 新5年生5名、新6年生7名、計12名

問 小規模校として、今後の高野小学校の運営は。

教育長 小規模校の特性を活かし、一人一人の学びに寄り添い、誰一人取り残さない学校運営を進める。

問 児童数一人、二人でも運営していくのか。

子ども教育課長 学校は社会性、協調性を学ぶ場であり、人数が減り、誰もいなくなった場合には休校となる。

問 募集後、途中転入があった時職員の手配は。

教育長 4月6日現在の学級数、在席しているかで配置が決まる。4月6日を過ぎてから転入希望があっても、学級は存在しないので、受入れは不可能。

問 小規模校として、多様性、特色ある特化した学校としての取組を町内外に広げては。

子ども教育課長 国も学びの多様性を掲げており、ニーズも含めて調査研究していく。

問 地域や保護者と共につくる学校をつくっていくことがこれからの理想の学校では。

教育長 メリットは、全国でも特色ある学校と認識している。個に応じた教育を追究し、高野小学校でなければできない学習活動を展開し、指導もしていく。

デメリットは、人間関係が制限されることに関してはあるが、ICT等を活用し、交流を進め支障がないようにしていきたい。



教室の様子



割栢義夫

議会の活動状況を報告します

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

●定例会・その他会議

Table with columns: 会議, 開会, 閉会, 会議日程, 傍聴者数, 一般質問 (登壇人数, 質問件数)

●提出議案数

Table with columns: 種類, 件数, 町長提出, 議員提出



議会運営委員会の様子

●委員会・研修会開催状況

Table with columns: 区分, 委員会, 開催日数



○令和5年に参加した主な研修会等

- 2/27 福島県町村議会議長会第2回定期総会
5/23 全国町村議会議長・副議長研修会
6/5 福島県町村議会議長会第1回定期総会
6/27 町村議会広報研修会
8/22 福島県町村議会正副議長・事務局長研修会
10/24 福島県町村議会議員研修会
11/29 町村議会議長全国大会



# 言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに  
住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

新町にお住まいの  
菊地 武志さん



私は、平成20年より新町中央第二商店会長を務めさせて頂いております。  
年々、会員が減少している中、商店会に加入されていない方には、協力員として行事に参加して頂いており、皆様のご協力のもと運営しております。  
昨年、4年ぶりに棚倉夏まつりが開催され、大勢の方楽しんでいただくことが出来ました。例年より会場の範囲が狭くなったため、恒例だった「棚倉三競輪」ができなくなりましたので、違う催しを企画したところ、参加したいという方が多くなり、先着順になつてしまい参加出来ない方もいました。  
これからは、今を考え会員の方々に意見を出していただき、毎年大勢の方に楽しんでいただける催しを企画して行きたいと思っております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

古町にお住まいの  
藤田 容子さん



私は、昨年度から第7次棚倉町振興計画審議会委員として会議に参加させて頂いておりますが、いろいろな立場の方々の様々な町への思いを知ることができ、大変勉強になっております。  
また、町の介護予防事業の一環である地域サロンではパステル画講師として、地域学校協働活動推進では、学校支援コーディネーターとしてかわらせて頂いております。  
どの活動でもその運営を支える関係者の方々の努力を肌で感じられ、福祉でも教育でも「より良い町づくり」の実現のためには、町民（現場職員）の理解と協力があってのことと実感しております。  
私見で町に望むことは、具体案ではありませんが、文化的学びを誰もが気軽に楽しめる組織づくり。  
最後に、これからも町民に寄り添った活発な議会運営を期待しております。

## あなたも議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

### 定例会6月会議日程のお知らせ（予定）

正式日程は、6月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

6月12日(水)開会・本会議

13日(木)一般質問

14日(金)一般質問



## 編集後記

桜の花も終わり、新緑の季節となりました。

コロナ禍で自粛されていたイベントも昨年より通常通り開催され、以前以上の賑わいを取り戻した様子に大変嬉しく思います。

広報編集常任委員会で、皆様にできるだけわかりやすい内容で、町議会の様子が伝わるような紙面づくりを心がけていきたいと思っております。

広報編集常任委員会

委員 高橋 みゆき



### 広報編集常任委員会

委員長 佐川 裕一  
副委員長 和知 裕喜  
委員 沼野 将美  
委員 高橋 みゆき  
委員 割栢 義夫